

1999年1月13日

報道関係各位

ノバルティス ファーマ株式会社

## 役員人事のお知らせ

1月12日、ノバルティス ファーマ株式会社は取締役会を開催し、以下の役員人事が承認され、決定しましたのでお知らせします。

ペドロ・ライザー ノバルティス ファーマ(株)代表取締役社長は、1999年3月31日付で退任し、4月1日よりノバルティス ファーマ(株) 特別顧問に就任します。ライザー社長の後任として、4月1日付で前日本モンサント株式会社代表取締役社長 通筋 雅弘(みちすじ まさひろ)氏が、ノバルティス ファーマ(株)代表取締役社長に就任します。通筋氏は、ノバルティス ファーマ(株) およびノバルティス ファーマ(株)の前身である旧日本チバガイギーおよび旧サンド薬品の歴史を通じて、初の日本人社長となります。

新社長に就任することが決まった通筋氏は、1995年から1998年9月まで日本モンサント株式会社の代表取締役社長を務めたのをはじめ、サール薬品株式会社代表取締役社長、ブリストル・マイヤーズ スクイブ取締役副社長など外資系製薬企業のトップマネジメントの地位を歴任しました。製薬業界において40年間の経験があり、その20年間は一貫して経営の立場にあって手腕を発揮しました。

通筋氏は日本市場に精通し、製薬企業のトップマネジメントとして優れた実績を残していることから、現在の厳しい環境を乗り切り、成長を可能にするノバルティス ファーマ(株)の新しいリーダーとして抜擢されました。

ライザー社長は1995年、旧サンド薬品社長として日本に赴任した後、チバガイギーとサンドの合併に伴う日本での統合を成功に導き、1997年4月、ノバルティス ファーマ(株)の初代表取締役社長に就任しました。ライザー社長は、この間、日本文化や日本的経営手法の理解に努め、欧米の経営手法との調和を図った結果、社員の厚い信望を獲得し、統合を成功させるために不可欠のリーダーシップを発揮しました。統合完成の後には、業界の厳しい環境の中で業績を維持し、ノバルティス ファーマ(株)の地位を確立するために大きな貢献を果たしました。統合が成功裡に完成したことで所期の役割を完了したため、その後継者として初の日本人社長、通筋氏が選ばれました。

ライザー社長は、社長退任後、ノバルティス ファーマ(株)特別顧問に就任し、引き続きノバルティス ファーマ(株) の経営に参画して経営方針の継続性を維持するよう努めます。

ノバルティス ファーマ社(バーゼル)のジェリー・カラベラス (Jerry Karabelas) 社長は、ライザー社長の日本における多大な貢献に感謝の意を表すると同時に、日本を大変重要な市場と位置付け、今後の日本市場で着実なビジネスを展開し、ノバルティス ファーマ(株)の成長を図る上で、初の日本人社長である通筋氏のリーダーシップに大いに期待する、と述べています。

以 上

お問い合わせ先：

ノバルティス ファーマ(株)  
広報グループ・渡辺 / 若松  
TEL: 03-3797-8027  
FAX: 03-3797-4367